

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

昨年比11支部分会増 秋闘要求いっせい提出

3つの統一要求を軸に産業別統一闘争強化。「せめてこれだけは」の要求で前進めざす



回答指定日での前進回答を求め、秋闘確約交渉 (27日・埼玉・東鋼業支部)

9月19日の18秋闘統一要求日に、全国で89支部分会(21日中央本部集計)が要求を提出しました。昨年同時期の78支部分会を上回り、多くの支部分会が秋闘にとりくみ、奮闘しています。

統一要求書の提出は、「くらしと雇用をまもり、企業の将来展望をつくる『合意協力型』労使関係をめざす要求書」が84支部分会(昨年69支部分会)、「安全・衛生に関する統一要求書」が83支部分会(昨年67支部分会)、昨年に引き続き統一要求として取り組んでいる「本物の『働き方改革』を実現する統一要求書」は84支部分会(昨年69支部分会)となり、要求を提出したほとんどの支部分会で統一要求書が提出されて産別統一闘争がすすんでいます。また、相次ぐ地震や自然災害に対する「異常気象・自然災害対策要求」にもとりくみ、統一要求ではないものの11支部分会で要求提出をしています。

要求する支部分会が多かった要求項目は「定年・雇

用延長、継続雇用者の処遇の改善要求」47支部分会、「労働時間短縮・時間外規制」35支部分会、「労働組合の権利」35支部分会、「安全衛生(支部独自)」32支部分会となっています。

これまで重点的に要求してきた継続雇用者の賃金・処遇の改善要求や組合活動の権利を前進させ日常活動を強化する要求、「労働時間短縮・時間外規制」をして安心して働ける職場を求めていることが特徴です。また「職場の諸要求」は60支部分会で提出され「せめてこれだけは」という要求が提出されました。

9月25～28日にかけて、各地で回答確約交渉がおこなわれました。埼玉地本では27日に2コースにわかれて9支部をまわり、経営者に回答指定日での前進回答を要請するとともに各支部を激励しました。回答指定日の翌10月4日には、支部代表者会議をもち、回答を分析し意思統一をはかります。

「たくさんのお話を学び、胸に落ちました」

仲間とともに職場と産別のリーダーに！ 第1回リーダー養成講座ひらく



2日間のリーダー養成講座を終えて(9月23日・湯河原)

産別と職場の役員に集ってもらい学習と交流をおこなうのは2012年の幹部学校以来6年ぶり。世代交代で職場に若いリーダーが増えているもと、JMITU全体の課題として「職場と産別の働き手」を育てていこうと、9月22～23日、静岡県熱海市の湯河原で、第1回リーダー養成講座がおこなわれました。

講座には、30代から60代まで講師陣を含め34人が参加。「要求実現をめざす産別統一闘争—職場の経験を踏まえて」(講師・生熊顧問)、「リーダーに求められるもの、私の幹部論」(講師・岩崎顧問)、「わたしたちの社会はどんな社会か」(講師・三木委員長)の3つの講座で講義と討論がおこなわれました。

初日の夜は日頃の悩みも大いに話し合い交流。「次回もまた参加したい」との感想が聞かれました。

産別統一闘争で要求前進！

13年間も1万円以上の賃上げを実現している日本ロール支部の教訓の一つが、産別団交など産別統一闘争。職場に「あきらめ」感が強いNTT職場においても、産別闘争で前進できると胸に落ちました。(通信産業本部東北支部・角田秀子)

たくさんのお話を学びました

団結強化のためには、組合員とよく対話し信頼を積み上げること。リーダーに求められることは、組合員を信じること。「仕事を知ること」。労働者は剰余価値を生み出しており、要求を遠慮する必要はないことなど、たくさんのお話を学びました。(栃木・日本板硝子支部 葛西慶子)

沖縄県知事選大接戦！ 玉城デニー勝利で辺野古阻止を

翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地建設にきっぱりNO！を突きつける知事を選ぶことができるかどうか、全国注視の沖縄県知事選挙が、大接戦のまま30日の投票を迎えます。

JMITUは「オール沖縄」が推す玉城デニー候補の支援を決定し、現地にも代表を送りました。



「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。